

# 紙芝居で伝える堀川文化

名古屋市中区錦1丁目の堀川ギャラリーで、名古屋の市民グループ「堀川文化を伝える会」が、堀川や周辺の町にまつわるエピソードを描いた紙芝居の展示会を開いている。21日まで、午前10時～午後5時(最終日は午後4時終了)。入場無料。

紙芝居は5組あり、2011年、放課後の小学校で開かれる市のトワイルイトスクールに通う子供向けに



展示されている紙芝居と「堀川文化を伝える会」のメンバーら。名古屋市中区錦1丁目の堀川ギャラリー

## 市民グループが作成・展示会 由来や逸話 歴史を紹介

同会が作った。物語は同会のメンバーらが調べた歴史上の話題から選んで文章にし、絵は市内在住のイラストレーター、むらおかさちこさんに描いてもらった。

「桜通と桜天神」と題した紙芝居では、桜天神と呼ばれる神社にかつてあった大きな桜の木が桜通の名前の由来になった話を紹介。8代將軍徳川吉宗がベトナムから呼び寄せたゾウが長崎から江戸へ向かう途中、名古屋の本町通を歩いた話なども取り上げている。

会場では、5組の紙芝居の絵と文章を額に入れて展示している。うち2組は実際に紙芝居のようにめくって楽しめるよう絵を一枚ずつパネルに印刷して展示している。物語を朗読する音声も流している。

伝える会の辻信雄会長(72)は「今はビルがたくさん建っている堀川沿いも、こんな歴史があったんだと知ってほしい」と話す。

問い合わせは、社会長(090・7434・8536)へ。